

開校48周年 児童一人ひとりを確実に伸ばす慈林小



慈林小だより



令和6年度4月号 令和6年4月8日発行

児童の主体的に生きる力を育む慈林小を目指して

校長 鈴木 真由美

すべてのものが清らかで命輝く季節を迎え、令和6年度が始まりました。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。本日、慈林小学校は瞳をきらきらと輝かせた1年生116名を新たに迎え、全児童数656名で48回目のスタートを切ることができました。

令和6年度も、教職員一同が一致団結して慈林小学校の教育を前進させてまいりますので、保護者・地域の皆様方のご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度は、学校教育目標「かしこく あかるく たくましく」、目指す学校像「児童一人ひとりを確実に伸ばす慈林小 ～あいさついっぱい 元気いっぱい やさしさいっぱい 学びいっぱい～」の実現を目指すとともに、子供たちの主体的に生きる力を育むために以下の7点を学校経営の柱として取り組みます。

【学校経営の柱】

- (1) 確かな学力の向上 …個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進め、子供たちの学びに向かう意欲を高めます。
- (2) 豊かな心の育成 …体験活動や交流活動を充実させ、いじめ防止や人権教育の推進に努めます。
- (3) 健やかな体の育成 …学校保健・学校給食・食育の充実、生活習慣の確立、体育授業の充実を図り、生涯に渡り健康で安全な生活を送るために必要な基礎的な知識や技能を身に付けさせます。
- (4) 特別支援教育の推進 …多様な教育ニーズへの対応として、通常学級と特別支援学級（スマイル学級）との交流教育を充実させるなど、インクルーシブ教育を推進します。
- (5) 学校・家庭・地域の積極的な連携による地域と共にある学校づくり
…学校運営協議会や学校応援団との連携により、地域に開かれた学校づくりを推進します。
- (6) 危機管理の徹底と教育環境の整備
…すべてにおいて子供たちの安心・安全を最優先とし、施設・設備の管理や緊急時の対応に万全を期します。また、子供たちが安心して登校できるよう、潤いのある環境づくりに努めます。
- (7) 学校全体の Well-being (ウェルビーイング) ※の向上
…子供たちのウェルビーイングを高めるためには、教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングを高めることが必要であることから、教育活動の工夫や働き方改革の推進、保護者・地域との信頼関係の構築に努めます。

※Well-being ○身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

○個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

※林小学校では、予測困難な時代を生きる子供たちや社会全体の Well-being の実現を目指して、教育活動の工夫・充実に取り組みます。